



八千代オイコス 川の学校 報告書 かわら版 第32号

平成 28 年 9 月 15 日発行
NPO 法人八千代オイコス
<http://www.yachiyo-oikos.jp/>

2016年 《川で遊び・川に学ぶ》 第10回 川の学校 in 花輪川開校



第10回 川の学校を終えて

八千代オイコス代表 川瀬純一

暑い夏のシーズンが近づくと、オイコスにもわかに忙しくなります。

今年でちょうど10回目を迎え、メンバー手分けの準備に入り、小学校へのPRチラシ投入を済ませて一段落。

しかし本当に忙しくなるのはこれからで、メール・FAX・ハガキ・電話と次々と頂く申込みに、まだ見ぬ子ども達の顔を思い浮かべての悲鳴です。

お陰様でオイコス事業の柱として起ち上げた「川の学校」も、10年の歳月を経て僅か2日間のカリキュラムとは言え、我々の掲げる＝自然の中から川を通して生き物を知り、更に環境を学ぶ＝と言う概念を子ども達に共有してもらった活動の手応えを量り知る事が出来た様に思います。

この事は、日頃川に入り生き物への保全作業や川岸の散策道の草刈、花壇の美化作業等オイコスの環境保全活動の基本が実を結んだ事と、オイコス全員で喜び合いたいと思います。

今回の川の学校運営に際し、特記したい事があります。年々高齢化するメンバーにあって、今年はスタッフに高校生が参加してくれた事です。日本ボーイスカウト八千代第2団の3人と女子高校生1人で、そのヤングパワーが小学生の子ども達に伝播して将来この活動に戻って来てくれることを期待したいものです。又初めての試みで、NPO 法人水環境研究所とのコラボによる「水の循環」について学んだ事でした。

最後になりましたが、市・教育委員会、小学校教員関係者、ご家族の皆様へ毎年乍ら多大なご協力とご後援を頂き厚くお礼申し上げます。



2日間の主な内容

1日目(7月30日)

- ・花輪川を歩いてみよう
- ・水の旅(水循環)
- ・しかけの話
- ・川の中を良く見てみよう
- ・しかけてみよう
- ・ふりかえり

2日目(7月31日)

- ・生き物をさがそう
- ・生き物についてのお話し
- ・八千代オイコスの活動しようかい
- ・班ごとに生き物ほうこく
- ・生き物作戦会議ワークショップ
- ・グループ発表 ・修了証渡し



ふりかえり 1日目

《子ども》

★わくわくしたことは？

- ・川に入ったこと
- ・ザリガニをつかまえた
- ・川で遊んだ
- ・しかけに何が入るかな？
- ・川に魚がいるか？
- ・川に入ったら冷たかった
- ・生き物がいっぱいいて、すごくわくわくした
- ・川でいっぱい遊べた
- ・深くて楽しかった
- ・深くてパンツがぬれそうだった
- ・友達と班がちがった

★残念だったこと

- ・靴にじゃりが入ったこと
- ・ザリガニにかまれた
- ・自分以外は騒いでいた、リーダーのみが働いた
- ・実験中にゲジゲジがでた
- ・もっと水の中に入りたかった
- ・暑かったこと
- ・暑かったのであせでかぶれそうだった
- ・歩く時間が長い
- ・魚を取ったが逃げられた
- ・ない
- ・ころんだ
- ・ぬれた

★発見したことは

- ・良く通る土とあんまり通らない土があることを知った
- ・超大クモ・ケムシがいた。
- ・ヨシノボリがたくさんいた
- ・お兄さんが倒れていた
- ・ザリガニはぴょんと後ろに逃げる
- ・水の中に変な虫がいた
- ・深いところがあった
- ・しかけの作り方
- ・ザリガニ、ハゼ、アメンボを見た
- ・川のもが気持ち悪い
- ・川で流れが速いところと遅いところ深いところと浅いところがある
- ・生き物がすごくいる

《お父さん・お母さん》

★わくわくしたことは？

- ・川の周りの景色
- ・こんな身近に川があった
- ・川にすむ生き物を見たこと(カエル、ザリガニ、トンボなど)
- ・川に入り水深がどんどん深くなること
- ・子どもの笑顔
- ・八千代にもこんな素敵な川があった
- ・初めてきました。川にトンボやアメンボがたくさんいた

★残念だったこと

- ・川に入れなかった
- ・ズボンが濡れてしまった
- ・装備不足で川には入れなかった
- ・水の実験が少し分かりづらい
- ・川に入って涼みたかったが、暑くては入れなかった

★発見したことは

- ・ハグロトンボが八千代で見られた
- ・水がきれいだった
- ・思ったより川の流れが速い
- ・水がきれいでした
- ・近所にこんな良いところがあった
- ・こんなにたくさんの生き物がいてびっくりしました



▲富士先生の網の使い方



▲ボーイスカウト高校生サポーター



▲NPO 法人水環境研究所 瀧先生
◀実験装置を使って岩井さんから水循環のお話

《子ども》

★わくわくしたことは？

- ・しかけの中を見るとき ・しかけを取る時
- ・あみでいろいろな生き物をすくったこと
- ・あみでえものが取れるか
- ・自分で何が取れるかと考えたこと
- ・川の学校で、とってもこうふんした
- ・水がキンキンにひえていた
- ・ドジョウをつかまえたこと
- ・農業交流センターで行ったこと
- ・川に入った

★残念だったこと

- ・雨が降ってきて、早めにひきあげた
- ・大きなザリガニを取れなかった
- ・大人の話が長かった
- ・なし
- ・女子のきめたしかけに魚が入っていない
- ・自分だけ、あみでつかまえられなかった
- ・ぬれてしまった
- ・あみで取る時間が少ない
- ・あまり種類が取れなかった
- ・しかけていたあみが、はずれていた
- ・しかけにあまり入っていきなくて残念
- ・皆でふざけていた
- ・水中の虫を取れなかった
- ・すべりそうになった
- ・もっと魚をつかまえたかった

★発見したことは

- ・いろいろな生き物を発見した
- ・水草がいっぱいあった
- ・大きなドジョウをつかまえた
- ・生き物がすんでいるところ
- ・ヨシノボリがたくさんいた
- ・いがいと魚がいた
- ・川にもえびがいるとわかった
- ・上流のほうが珍しい生き物がいること
- ・いろいろとボランティア協力する
- ・ゲンゴロウがいた・ドジョウがいた
- ・スジエビが堅かった

★川をきれいにするために私たちができること

- ・ゴミひろい・ゴミをすてない・ゴミはもってかえる
- ・募金
- ・腐ったものをとりのぞく
- ・川の周りをきれいにする
- ・先ず汚さないことを守る。そしてすめる環境をつくる
- ・楽しくてさっきやった発表をがんばります
- ・水を大切にす
- ・魚をつかまえすぎない
- ・えさをあげない
- ・注意やしてほしくないことを、かいて看板を立てる
- ・魚道をつくる

《お父さん・お母さん》

★わくわくしたことは？

- ・しかけに何が入っているか？
- ・市内には入れる川があった
- ・生き物がたくさんとれた ・予想以上
- ・今日は川に入れるように準備して来て、川遊びができた
- ・童心にかえり楽しかった

★残念だったこと

- ・しかけで捕まえられたものが、想像より少ない数だった
- ・無い
- ・川に入れなかった
- ・子どもたちが生き物をたくさん取れていた（負けた・・・）
- ・生き物を川に返さなければいけない（当然ですが・・・）
- ・大人も一緒に発表するなんて・・・でしたが皆で話し合っって楽しい時間でした。

★発見したことは

- ・パッと見、解らないけど、たくさんの生き物が花輪川に生息している
- ・市内にも綺麗にできる川があった
- ・水遊びや生き物の観察ができる川があった
- ・スジエビ、ヨシノボリ等普段見られない生き物がいる
- ・CODで水の汚れが解る

★川をきれいにするために私たちができること

- ・ゴミ、排水、生き物を持ち帰らないなど心がける。
- ・自然を維持することと、常日頃関心を持つ
- ・生活の中で川の生き物のことを意識して、汚れた排水など出さないようにする
- ・水を大切に、生き物を大切にすという、ひとりひとりの意識
- ・1%支援はオイコスへ
- ・清掃活動に参加する
- ・子どもたちと川に行く機会を増やす
- ・環境について考えていきたい



花輪川に生き物がたくさんすめる大作戦会議



各班の発表

1班 生き物たんけんチーム

- ・もともと住んでいない生物を川に入れない
- ・ゴミを捨てない
- ・川のせいそう
- ・ゴミ箱をつくる



2班 メダカチーム

- ・ゴミをひろう
- ・川の周り、林をきれいにしよう
- ・水を大切に使う
- ・生き物の暮らしやすい住みかを作る



3班 ニボシチーム

- ・魚道をつくる
- ・生き物を捨てない(最後までかう)
- ・卵を産む場所をつくる
- ・ゴミ拾いの活動を行う



J:COM カメラマン



修了証授与

4班 花輪川チーム

- ・水をきれいにする
- ・ゴミを減らす
- ・川の周りの環境も良くする
- ・かくれがをつくってあげる



真剣に討議中です



しかけはここにしました



他の班発表を聞いています



5班 生き物捕らえ隊チーム

- ・川の中をきれいにする
- ・水草をふやす
- ・生き物をたいせつにする
- ・よごれた水を流さない



親チーム 膝下5cm

- ・粗朶の維持拡大
- ・減農薬栽培
- ・階段の増設
- ・浸透ます



1班 生物たんけんチーム 3年 武石 和樹

僕が川の学校で楽しかった事は、三つあります。

一つ目は、川に入った事です。ぼくは、川に入った事があまりないので、いいけいけんになりました。つめたくて、きれいだったです。

二つ目は、しかけをかけて、どんな生き物が入っているのかという勉強です。ぼくは、生き物が大好きなので、すごくわくわくしました。この花わ川には、生き物がたくさん住んでいたから、かんさつするのはすごくむずかしいと思ったけど、一ぱんのみんなと協力して、たくさんの生き物をかんさつ出来ました。ぼくは、一ぱんのリーダーだったので、どの生き物が何びきいたか等を発表しました。一ぱんのみんなと協力したのでいい発表が出来ました。この事は忘れられない思い出になりました。

三つ目は、花わ川にどんな活動をしたら、生き物が住みやすい川になるか、他のはんと話し合った事です。皆でゴミ拾いをしたら、よりきれいな川になるでしょう。生き物が住みやすい花わ川になったらいいなと思います。



『川の学校』に参加して

2班 メダカチーム 6年 渡邊 瑠花

私は、去年と今年の二年間に渡って、川の学校に参加させていただきました。

去年は、川に入ったり、生き物を捕まえたりして、ただ楽しいという思いだけでしたが、今年は「昔の花輪川」「わき水」「川の生き物」など、たくさんの「川」の事を学ぶ事が出来ました。

さらに、どうしたら川の生き物をもっと増やせるかという話し合いを、メダカチーム（2班）で考える事が出来て、去年とは違う発見や楽しさがありました。

私は今年六年生なので、来年は参加出来ないのがとても残念です。でも、これからも『川』についてはいろいろ学んでみたいと思いました。本当に楽しかったです！ありがとうございました。

3班 ニボシチーム 4年 万木 陸叶

ぼくは、今回はじめて川の学校に参加しました。

一日目は、2こ わなをしかけました。二日目、わなにかかっている魚を見ると、スジエビーびき入っていました。もう一つの方は竹がはずれてしかけがながされてしまいました。でもあみでいっぱいつかまえました。

よしのぼりが54ひきもあみでつかまえました。

水質けんさを行いました。8以上なので一番きたないのがわかりました。花輪川の水はいんば沼の水がながれてるのできたないとわかりました。8以上だと青で、一番きれいなのが、ピンク色の水です。

自分たちでつかまえたのを発表したあと、農業こうりゅうセンターに行って、生き物がたくさんすめる大作戦の表をつくりました。みんなで発表したあと、「川の学校修了証」をもらいました。

ぼくは、上からは見えないけれど川にはすごくたくさん生き物がいることがわかりました。来年もまた参加したいです。

川の学校～in 花輪川～に参加して

4班 花輪川チーム 3年 小松あい

私が「川の学校～in 花輪川～」で一番楽しかったのは「しかけ」でした。

なぜかという、しかけ①(男子チームによる)からいきなりドジョウが出てきたのです！他にも、ヨシノボリが入っていてうれしかったです。

そのあとの、あみで生き物をつかまえる授業も楽しかったです。

ドジョウが8匹、ザリガニは16匹、アマガエル、ゲンゴロウ、ヤゴがそれぞれ一匹ずつ、スジエビが2匹、ヨシノボリ37匹で、全部で66匹も入っていてびっくりしました。

生き物がたくさんすめる花輪川大作戦では、水をきれいにしたり、外来種を持ちこまないなどの、全部で10個の考えが出ました。

川の学校に参加して一番心に残ったことは、「この川をこれ以上きたなくしてはいけない、反対にきれいにしなくてはいけない」という事です。

私自身は花輪川をもっともっときれいにしていきたいと思っています。



川の学校の2日間の思い出

5班 生き物捕らえ隊 3年 小林しゅん太

花わ川につくと、まずは、花わ川を歩きました。歩いていると、花わ川の流れる音がきこえてきました。そのきれいな音にぼくは感動しました。

次には、水のべん強をしました。雨がふったら、水はどこに流れていくの？何分で水は下にしみこむのかな？などのべん強をしました。そのべん強で、ぼくはいろいろなこと学びました。ぼくは、水のべん強をして、こう思いました。ときには、雨もふらないとだめなんだなあ・・・晴ればかりじゃだめなんだなあ・・・と、思いました。

おわりに、2日間でいちばんうれしかったことをかきます。それは、魚とりです。はん全いんでもとれたし、魚も40匹きい上とれました。ぼくはそれがいちばんうれしかったです。オイコスのみなさん、そしてはんのみんな、2日間、ほんとうにありがとうございました。

親チーム 堀田 勉

にわかになら結成された大人班。チーム 膝下5cmです。子供たちの手本となるべく、頑張りました！

しかし、生き物集めでは、パワフルな子供たちを前に完敗でした。

以後、父母の感想の要旨です。(敬称略)

賀来：八千代に入れる川があるのを知らなかった。オイコスの活動がもっとたくさんの方に知られると良い。

ヤング川瀬：子供の発表内容の素直さに感心。

原夫妻：班の皆で力を合わせて知恵を出し合うことがとても良い。親子共々水の大切さ、生き物の種類など、沢山知ることができた。もっと川で遊べるところが出来たら良い。

古内：市内に入れる川があるのを知らなかった。親子で水や自然の大切さを学び、とても楽しく参加できた。

万木：2日間、親子で川の勉強ができ大変勉強になった。

宮本：川の環境について考えさせられた二日間だった。

堀田：あんなにも身近に自然があることに驚いた。

以上、とても楽しくためになる二日間をどうもありがとうございました。



川の学校活動報告

スタッフアシスト 高3 宮竹 千晶

今年は昨年の課題「暮らしている地域環境にもっと多くの人に関心を持つためには何をすれば良いか」を意識しながら活動した。活動初日オリエンテーション時の子供たちは、表情も硬く緊張しており衣服などの汚れを気にしていた。しかし、オイコスメンバーによる誘導や実際に川に入ることで自然と笑顔になり、川に夢中になっていたことはとても微笑ましかった。私は子供たちと歳が近いこともあり、子供たちの目線で声掛けをすることが出来た。

今年は「水循環」についても学び、子供たちは珍しい実験器具に食い入っていた。そして川には多くの生き物が生息していることや、土橋付近はゴミもなく綺麗に整備されていることが確認できた。しかし、活動拠点である土橋から 100 メートルほど上流の地点にはお菓子の袋などのビニールゴミや空きカンも多数落ちていた。このような問題を解決するためにも先の課題を解決していかななくてはならないと改めて感じた。そして今回の活動で得た解決策は「川や自然を好きになること」である。実際、川に入った子供たちからは「川についてもっと知りたい」、「川を綺麗にしたい」といった前向きな感想が多く出された。初めは自然保護といった目的が無くても、自然に触れ楽しむことで環境に対する関心も増すと認識出来た。

今後は大学で自然環境など専門的に学び、オイコスの活動にも深く関わりたいと思う。また、楽しみながら自然について考える機会を作るにはどのようにすれば良いのかを考えていきたい。

最後に、今回は私用のために1日目のみの参加となりましたが快く受け入れていただきありがとうございました。

皆で楽しく活動しました！

スタッフチーフ 桑波田 和子

子ども達 30 人、保護者 12 人、高校生サポーター4人、講師 3 人、オイコス 17 人前後で 2 日間、川の学校を実施しました。

小学 3 年生以上が八千代市内から参加します。子どもたちは初めて会うので、最初は緊張していますが、一緒に花輪川を歩き、水調べや生き物探しなどの活動を通して、最後は皆がお友達になります。

今年は、雨が降り、花輪川にしみだしてくる水循環について、NPO 法人水環境研究所の瀧先生、岩井さんから学びました。

子どもの一番の関心は、川に入り生き物探しをすることですが、どこにしかけをしたら良いか？川の中はどうなっているのか？等川を良くして生き物が棲みやすい環境にきづくことを主眼にしています。

2 日間思いきり遊んで体験した結果は、2 日目の「花輪川に生き物がたくさんすめる大作戦会議」のグループ毎の話し合い後、班毎の発表で見えます。子ども達からは、水草をふやす等川の中の棲みかづくり、ゴミを捨てないなど川の周りの環境を良くする、生き物を持ちこまない持ち出さない、生き物を最後まで飼う等、視野が広がることに気づきます。又、保護者も子どもと同じように活動することで、子ども達との良い緊張感が見えます。

今年は、高校生のボーイスカウトや子どものころから参加し現在受験生のサポートもありました。オイコスにも大変ありがたいことでした。次世代へとつないでいきたいと思えます。



編集後記

「川の学校」も第 10 回目を迎え、無事終了しました。今回は高校 3 年生で、受験を控えたお嬢さんと八千代市内のボーイスカウト 3 名が、子供目線の立場でコミュニケーションを取ってくれ、スタッフのアシストとして活躍してくれました。また 報道陣も宮竹夫妻、ボーイスカウト、或いは JCOM カメラマンの取材が有り、「川の学校」の盛り上がりに一役買ってくれました。

「川の学校」の特集編としてご覧のような小冊子が出来上がりましたのも、報道陣の適格な目線と地道な努力が有ったことと思ひ、編集者として感謝、感謝の思いです。

(TANA-H)

